

区政のここが聞きたい

第2回定例会一般質問(要旨) 6月25・26日



※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

令和元年 としま新時代へ
次代の子供たちに繋ぐ
まちづくり



自民党豊島区議員
竹下ひろみ

誰もが安心して暮らし続けられる 魅力ある豊島



公明党
高橋佳代子

関係機関と連携、包括的な相談支援体制を構築し、切れ目のない支援になるよう努力する。
●食品ロス削減について
食品ロス削減推進法成立に伴う区の今後の対応は。

●高野区長6期目の区政運営に臨む基本的姿勢と抱負について
消費増税や米中貿易摩擦など不安材料を抱えての将来の財政運営の舵取りは。貯金と借金のバランス改善への具体策は。

●4年度にはバランスが改善する財政見通し。インフラ整備や区有地の管理など社会経済状況の変化に応じた効率的、戦略的マネジメントの仕組みを検討。

●子供の安全安心対策について
子供が巻き込まれる悲惨な事故や事件が続く。区として道路や歩道の安全を点検し、危険箇所は早急に措置すべき。

●警察を含め組織横断的に情報共有し確認することで、漏れない効果的な整備を実現する。

●政府が保育園等の周辺で車を通行規制するキッズゾーン新設の方針を固めた。区の対応は。

●詳細がまだ明らかでない。国の動向を注視し、関係機関と連携して積極的に対応していく。

●全国的な児童福祉司の不足が事件の一つの原因。区の相談所の人員確保の現況と確保策は。

●4月時点で正規職員を18名確保。さらに29名を確保し、4年には非常勤職員17名、臨時職員22名を加えた86名体制を想定。計画的に採用を実施。

●児童相談所の設置には財源保障が課題。施設整備費など準備経費に関する都との協議は。

●具体的議論に至っていない。関係経費は基準財政需要額での算定を、準備経費も設置区の経費が確認できた段階では普通交

付金での全額算定を強く求める。

●池袋駅周辺地域のまちづくりについて
4つの公園構想が形になってきた。5つ目として東池袋中央公園を新たなコンセプトで整備しては。考えと今後の展開は。

●「公園が街を変える」中心的な役割を持つと確信。サンシャインシティらと意見交換し、明確なコンセプトのもと再整備計画を早急に策定し、取り組む。

●東京オリンピック正式種目となったスケートボードは競技人口も増加。改めてスケートボードパークの検討を要望するが、袋駅周辺で設置に適した用地選定に向け、積極的に検討する。



スケートボードパーク

●保育の質の向上について
保育士の魅力を増やすための方策、保育士の資質及び専門性向上に向けた今後の取組は。

●仕事の専門性や魅力を積極的に発信し、待遇や宿舍借上げなど福利厚生面もアピール。多様な研修の機会を充実。公開保育や合同行事など互いに学ぶ環境を整え、資質と専門性を向上。

●安全対策について
高齢ドライバー等の免許返納を促進するため、関係団体と連携した独自の特典等の検討状況は。

●早急に準備に取りかかり、免許返納後の移動支援の観点から区独自の特典を提供していく。

●都の自動車事故防止に効果的な装置の補助事業開始と合わせて区も補助を実施し、実質自己負担ゼロでの装置の設置を推進するように望むが。

●都の9割補助と連携し、区が1割補助を行う準備を進める。

●危険箇所について、警察署等関係機関と連携した安全対策に必要な整備の現状と今後の取組は。

●危険箇所は区立保育園長経験のある職員が現場を確認し、指導・助言を行っている状況。今後、すべての保育所の園外保育の移動経路や危険箇所を地図に落とし込み、警察等へ情報提供や改善の申入れを行う予定。

●町会の防犯カメラの保守・点検費用の区での助成は。

●各町会の実情等を踏まえ、助成の実施に向け検討していく。



免許返納の促進

●子ども・若者施策について
幼児教育無償化における副食費の公費助成に加え、幼稚園でも相当の保護者負担軽減に取り組むよう求める。

●保育所園児の給食食材料費は全額区が負担。幼稚園でも保育所と同様に、保護者が無償化を実感できるよう保護者負担軽減について早急に検討していく。

●ひきこもりに関する訪問相談から就労支援まで切れ目のない支援の取組についての考えは。

●総合高齢社会対策について
フレイル状態を予防し健康寿命を保つための区内全域での取組と展開方法は。

●全域に拡大し、事業を推進する。今年度から区民ひろばと連携し出前型アウトリーチ事業を開始している。

●安全安心なまちづくりについて
高齢運転者に対する免許の自主返納を促すための特典などを周知する取組は。

●早急に広報やホームページにわかりやすく表示する。警察と連携し人が多く集まる場面で周知していく。

●福祉の視点を踏まえた高齢者の日常の移動手段に対する支援策は。

●提案を踏まえ、11月に運行を開始するイケバスの割引制度

東京大改革、国際アートカルチャー都市構想の実現を目指して



都民ファーストの会 民生
細川 正博

●関係機関と連携、包括的な相談支援体制を構築し、切れ目のない支援になるよう努力する。
●食品ロス削減について
食品ロス削減推進法成立に伴う区の今後の対応は。

●区民や事業者等が食品ロスの削減の取組を促進するため、普及啓発を推進する。また食品ロス削減推進計画については、今後の基本方針を踏まえ策定の準備をしていく。

●住宅施策について
高齢者等に家主が住居を貸しやすくするための取組は。

●夏頃までに一定の方向を取りまとめ、早期に高齢社会に対応した新たな対策を打ち出す。



IKE BUS (イケバス)

●保育所ごとの園外での保育活動の安全確保・危機管理体制の構築に対する支援は。

●統一したマニュアルを全園に整備する。園外保育経路や危険箇所等情報を盛り込んだ全体のマップを作成し、関係機関と共有する。

●小中学校、幼稚園における門扉の自動施錠や防犯監視シス

テムの導入状況は。

来校者用扉は、自動錠が18施設、他15施設が手動。防犯カメラはすべての施設に設置。錠の実施状況は、早急な安全対策の実施を。

自動錠でない扉は徹底されていない場合もあると認識。錠の徹底を指導。自動錠タイプの扉整備に努める。

●学校における働き方改革について

学校徴収金の公会計化・システムの早急な導入を。

学校徴収金の公会計化に向けたシステム構築経費を、今定例会の補正予算案に計上した。教員が欠けたときの補充の現状及び現場の声を踏まえた今後の対応は。

非常勤講師や臨時的採用教員での補充が全般的な現状。教員の人事を扱う都教育委員会と学校の厳しい現状を共有し、バックアップする。

●コミュニティ・スクールの導入について

池袋本町小学校でのコミュニティ・スクールとインターナショナルセーフスクール（ISS）の両制度の関係についての教育委員会としての考えは。

学校の実情、取組実績を踏まえて、今後の在り方も含めてモデル事業の中で体制を検討し、整理・統合できるように支援。

千登世橋中学校で、ISSのノウハウをどのように取り入れるのか。各中学校ブロック内でのISS活動の横展開をいつまでに行うのか。

認証校である高南小学校の実践から安全安心教育推進について学び、小中学校が一緒に認識を高められるよう支援。2年

度にすべての中学校ブロック内に1校以上の認証校が誕生するため、認証校をリーダー校としてISSの全校化を進める。

区民のいのち・暮らし第一の区政に転換を



日本共産党 渡辺くみ子

●区長の政治姿勢について

消費税は低所得者ほど負担が重くなる逆進的税金。増税に反対し、国に中止を求めたい。

消費増税は社会保障制度維持の貴重な財源。反対しない。●区政に臨む基本姿勢について

池袋西口公園整備費や芸術文化劇場建設費等、今年度の東アジア文化都市記念事業費28億円を含め、今後5年間の投資的経費は1千167億円。区は「借金が貯金を上回る」として既存事業等の見直しを示唆した。これは必要な区民サービスを削減するものになるのではないかと懸念する。

●区政運営の基本は区民生活貯金と借金のバランス改善を前倒しで果たしたい。

市街地再開発事業や造幣局地区まちづくり等を、住民無視議会無視で進めている。住民合意のもとで議会の承認を受けたい。●区長の見解は。

議会や地域の皆様は、しっかりと説明責任を果たしていく。●日本共産党区議団のアンケートでは、税金や保険料のこれ以上の負担に耐えられないが77%であった。区民生活の実態の認識と、特に低所得者の負担軽減をするつもりはあるのか。

軽減措置をする考えはないが、生活困窮者には、きめ細やかな相談により丁寧に対応する。

国民健康保険制度の拡充を。国保は所得200万円以下の加入者が80%を超え、また均等割り負担など構造的な問題がある。高額な保険料の負担は限界であり、区民のいのちを守るため、一人当たり1万円の保険料引き下げを実施すべき。

クルの展開を控え、行政と協働する地域組織再編の検討を。再編には組織相互間の十分な議論と合意形成が必要。コミュニティ・スクールの試みにより、議論の進展に期待する。

かな相談により丁寧に対応する。

●国民健康保険制度の拡充を

一人当たり1万円の保険料引き下げを実施すべき。

●高齢者の運転免許返納促進について

自主返納による区独自のメリットの提示や返納促進の区の見解は。

区独自の特典の提供の準備を進め、各種メリットの情報提供等を行っていく。返納促進は、交通事故防止の観点から重要なテーマであると捉えている。

●豊島区の財政運営について

今後数年間にわたる借金超過はバランスのとれた状態と言えるか。今後5年間の「予算の大枠」を大幅に改定し、3年後に

豊島区政のさらなるスリム化を目指して



立憲としま 古堺たかし



コミュニティバス

変わらないことは問題。区独自でもすべての力を結集させ、強い姿勢で国に支援を求めたい。●コミュニティバスの導入について

区は道路が狭い等の理由で導入を拒否してきたが、高齢者の移動の自由や高齢ドライバーの運転免許証の自主返還を進めるためにも、条件整備をし、コミュニティバスを運行すべき。

早急に導入する考えはないが、課題について検討していく。

は再度プラスに転じる財政見通しをたてたところである。赤字補填としての指定管理料の支出なしで、芸術文化劇場を維持運営することが急務。

●施設維持管理、運営には



芸術文化劇場（写真の中央）

相当の費用がかかるが、来場者による消費行動等により、大きな経済効果が本区全体にもたらされることが期待できる。

子ども達が夢や希望がもてる豊島区を目指して



無所属の会 わがい哲代

●介護保険制度の再構築を求めて

低所得の方が介護サービスを受けられない等、厳しい介護環境に対する区の手立ては。

●児童相談所開設について

一時保護所の定員12名を超過した場合の対応は。

●高齢者の運転リスクと、免許返納のメリットについて、高齢運転者ご家族までも含めた理解促進と周知徹底を。

ご提案を含め、地域生活に

困難な状況下にある高齢者を支えるためには、地域に拠点を置く介護事業所を利用した新たな相談体制の構築が必要では。

●免許返納者も暮らしやすい、豊島区独自の交通補助施策につ



相談体制



無所属元気の会 小林 弘明

豊島区独自の交通補助施策につ

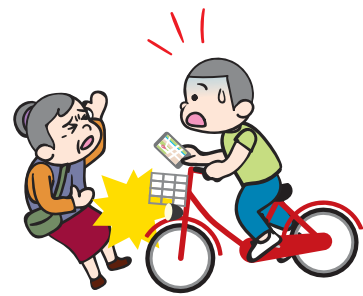
いて

タクシー補助や電動アシスト自転車の購入補助整備が重要。事業実施に向けて進める。

●運転継続リスクと免許返納メ리트を、高齢運転者のご家族まで含めてしっかりと理解してもらおうことについて

啓発物が確実に目に留まるよう、学校や町会で配布しては。より多く区民の目に触れるよう、工夫を図っていく。

●自転車保険について
23区初の加入義務化は以前



自転車保険の加入

から私が提言してきた。目標実現に向けた具体的な構想は。関連団体や街頭、チラシへの継続的な啓発から行っていく。

みんなで決めよう豊島の未来。



豊島ネット 塚田つばき

●ジェンダー平等の実現にむけて
区民へのジェンダーバランス平等の意識の浸透について。

「住民説明会」における質問者の男女バランス等、区職員が率先してジェンダー平等に配慮する姿勢を示すことで、多様性が尊重される地域社会を目指す。

●ひとりこしな子育て・介護・くらし
あらゆる世代において「社会的孤立」の問題がある。少数精鋭化による人員計画だが、必要な部署の人員や予算は削りながら

い方向でお願いしたい。福祉分野の人員体制は強化している。これまでの「削減ありき」とは異なる「総合的な定員管理の在り方」を検討する。



「ジェンダー平等の実現」は、目標の達成にもつながります。国連のSDGsの一つ。

チャンスをつかめる豊島区を目指して！



あたらしい豊島の会 入江あゆみ

●引きこもり支援について
中高年への支援はどの部局が、どのように取り組む方針か。

アシスとしまでのノウハウを基に部局の壁を越えた包括的な相談支援体制を構築していく。

●保育・教育政策について
24時間型の認可・認証保育園の整備を区が実施すべきでは。20時以降の需要が低く、現時点で整備の緊急性が高くない。就学前のみでなく、小学校

3年生まで病児・病後児保育の対象に。やむを得ない場合は小学生を受け入れる柔軟な対応を。小学生を対象とした病児・病後児保育の充実が必要。診療所併設型施設の拡充やベビシッター等の派遣サービス利用による一部助成を検討していく。



病児保育

一人でも多くの命が助かる社会！そして誰もが住みやすい豊島の未来に向けて！



自由民主党 池田 裕一

●救命対策について
区内のAED設置数の推移は。現在、AEDマップで公表している設置数は768台、その内24時間利用可能なものは165台。平成29年度と比較し、総数で138台増、この内24時間利用可能なものは90台増。

ペットボトルによる心臓マッサージの訓練キットへの見解及び活用の検討は。訓練キットは、手軽に心肺蘇生の訓練を実施できる利点があり、心肺蘇生の技術を身につける動機づけとなる。訓練キットは今年度既に職員の救命講習に取り入れるとともに、防災訓練等のあらゆる機会に、区民への普及を図っていききたい。

小規模公園活用プロジェクトの現状及び今後の展開は。区内の小規模公園を活用し、民間事業者と協働し、公園利用者との井戸端会議を行っている。また、巣鴨公園を含む4つの公園・児童遊園をモデル選定し、ワークショップを開催している。今後、絵本や飲み物を提供する車両を公園に巡回させ、さらに魅力を高める展開をしていく。

●行政手続きについて
スマートフォン等で必要な

●高齢者施策について
認知症サポーターとして、地域貢献を希望する方が活躍できる環境整備の方策は。認知症サポーター養成講座を終了後のスキルアップ講座を活用し、受講者が認知症の人を支援できるよう充実していく。

●健康と福祉施策について
糖尿病による区内の透析患者数は。また、レセプトデータを活用した健診未受診者、治療中断者への受診勧奨を。特定疾病療養受給者証の発行者数は約280名。レセプトデータ等の一部活用した受診勧奨は始めているが、今後、地区医師会と協議、連携を進めていく。

●教育課題について
いじめ相談に関するSNSを活用したアプリの周知、活用状況や、LINEを活用した相談への取組推進について。相談QRコード記載の文書を児童・生徒へ配布したが、QRコードが相談窓口の一つに加わった説明程度の活用状況。今後は都のLINE相談窓口に一歩化することを周知していく。

●大塚地域の整備について
都交通局と連携し、都電軌道内の緑化推進を求める。都は現在、軌道敷の緑化実証実験を行っており、区は都と連携し緑化を進めていく。



AED

●公園政策について

●小規模公園活用プロジェクトの現状及び今後の展開は。区内の小規模公園を活用し、民間事業者と協働し、公園利用者との井戸端会議を行っている。また、巣鴨公園を含む4つの公園・児童遊園をモデル選定し、ワークショップを開催している。今後、絵本や飲み物を提供する車両を公園に巡回させ、さらに魅力を高める展開をしていく。

●行政手続きについて
スマートフォン等で必要な

●健康と福祉施策について
糖尿病による区内の透析患者数は。また、レセプトデータを活用した健診未受診者、治療中断者への受診勧奨を。特定疾病療養受給者証の発行者数は約280名。レセプトデータ等の一部活用した受診勧奨は始めているが、今後、地区医師会と協議、連携を進めていく。

誰もが安心して住み続けられる豊島区を創ろう



公明党 根岸 光洋

●高齢者施策について
認知症サポーターとして、地域貢献を希望する方が活躍できる環境整備の方策は。認知症サポーター養成講座を終了後のスキルアップ講座を活用し、受講者が認知症の人を支援できるよう充実していく。

●健康と福祉施策について
糖尿病による区内の透析患者数は。また、レセプトデータを活用した健診未受診者、治療中断者への受診勧奨を。特定疾病療養受給者証の発行者数は約280名。レセプトデータ等の一部活用した受診勧奨は始めているが、今後、地区医師会と協議、連携を進めていく。

●教育課題について
いじめ相談に関するSNSを活用したアプリの周知、活用状況や、LINEを活用した相談への取組推進について。相談QRコード記載の文書を児童・生徒へ配布したが、QRコードが相談窓口の一つに加わった説明程度の活用状況。今後は都のLINE相談窓口に一歩化することを周知していく。

●大塚地域の整備について
都交通局と連携し、都電軌道内の緑化推進を求める。都は現在、軌道敷の緑化実証実験を行っており、区は都と連携し緑化を進めていく。

●健康と福祉施策について
糖尿病による区内の透析患者数は。また、レセプトデータを活用した健診未受診者、治療中断者への受診勧奨を。特定疾病療養受給者証の発行者数は約280名。レセプトデータ等の一部活用した受診勧奨は始めているが、今後、地区医師会と協議、連携を進めていく。

●教育課題について
いじめ相談に関するSNSを活用したアプリの周知、活用状況や、LINEを活用した相談への取組推進について。相談QRコード記載の文書を児童・生徒へ配布したが、QRコードが相談窓口の一つに加わった説明程度の活用状況。今後は都のLINE相談窓口に一歩化することを周知していく。

●大塚地域の整備について
都交通局と連携し、都電軌道内の緑化推進を求める。都は現在、軌道敷の緑化実証実験を行っており、区は都と連携し緑化を進めていく。

※アシスとしま...区内在住、在学、在勤の子どもからおおむね39歳までの若者及びその家族の方を対象とした総合相談窓口。昨年7月から本庁舎4階子ども若者課に設置し、様々な悩みについてのご相談を受け付けている。
※キャラバン・メイト...東京都のキャラバン・メイト養成研修を受講し、認知症に関する正しい知識や対処法等、講師となるための研修を修了した者。認知症サポーター養成研修の講師となる。

明るく活気のある街づくり



河原 弘明
都民ファーストの会 区民

●財政と行政改革について

問 経済の懸念材料もある中で今後の財政運営について。

答 過去の経験を踏まえ、年度間の財源の調整を図るための財政調整基金の目標残高を標準財政規模の2割以上と定め、安定した財政運営の確立に努めていく。不透明な経済動向に留意しながら、区の将来に向けた施策をバランスよく進める。

●東アジア文化都市2019豊島について

問 東アジア文化都市開催による区内への効果や影響は。

答 街中でのポスター等の掲出や、関連事業を各所で展開。国際的な視点を意識することで区の文化を再認識し、郷土愛や誇りを喚起する機会となった。



東アジア文化都市街中でフラッグを展開

●高齢者の引きこもり対策について

問 8050問題の捉え方は。答 「総合高齢社会対策」における重要な課題の一つだと認識。包括的な相談体制をつくることにも、各関係機関連携によるチーム対応が必要と考える。

●受動喫煙対策について

問 全面禁煙か分煙かを含めた

●飲食店等の対策はどうするか。

問 「禁煙レストラン」としての登録店舗の増加を目標とし、イベントや食品衛生事業での飲食店訪問、食品衛生講習会等を通じて、事業者に向けた周知を進める。

問 補助172号線の用地買収の進捗状況は。最近一年間は他地区の特定整備路線と比べてどうか。

答 用地買収率は平成31年3月末時点において約42%。一年間で約12ポイント上昇。この上昇幅は、他区間の中で最も上昇した補助26号線南長崎区間の約13ポイントに次いで大きなもの。

●トキワ荘関連について

問 地域部会の細分化による頻繁な討議と周辺商店街の空き店舗活用等を地域部会の中心議題として取り組むことについては。

答 地域部会の運営に当たっては、部会を細分化する形でテーマ別にグループ編成をし、重要なテーマの一つとして、周辺商店街の空き店舗活用や昭和の面影を残す景観保存についても取り組んでいきたいと考えている。

問 東長崎駅前交番に解説板等の設置を。道路のカラー舗装化により回遊性の向上を。

答 来年3月に設置予定の東長崎駅前交番の駅側通路上に「トキワ荘ゆかりの地看板」を設置しての交番の解説を考えている。道路のカラー舗装化については、南長崎地域の案内サイン等の整備との整合も図りつつ、地元商店街のご意見を伺いながら検討を進めていく。

区民の声をきき、だれもが安心して暮らせる豊島区を



清水みちこ
日本共産党

●羽田空港の増便に伴う新飛行ルート計画について

問 豊島区で初の教室型説明会が開催されたが、なぜ区長は説明会に出席しなかったのか。区民の命、財産を守るため、区に計画の白紙撤回を求めるべき。

答 常に担当部長から詳細な報告を受けており、出席しなくても良いのではないかと。国に白紙撤回を求めるつもりはない。



新飛行ルート

●子育て支援について

問 義務教育は無償が原則。今でも学校給食費負担は重く、消費税増税で負担増が懸念される。

はらはら、どきどき文化溢れる豊島区の次のステップについて



立憲としま さくま一生

●創造性、共感力を養う為の公立学校での表現教育について

問 本区から世界を席巻する人材を輩出するため、国際アート・カルチャー都市ならではのインプロ教育のような大胆な芸術表現教育を取り入れては。

答 今までインプロ俳優に馴染みはなかったが、まさに一人で語り、即興で芝居をする。夢を



芸術表現教育のワークショップ

語り、議場が劇場のようにも感じられ、これがインプロの仕事なのだと感じた。芸術表現教育としてカメルーンダンスサーによるワークショップを実施し、中

真に区民に寄り添う豊島区を目指して!



無所属の会 ふるぼう知生

問 交通安全について。答 先般の事故を契機とした様々な提言への区の受け止めは。いづれも重要な提案と受け止めており、各種提言の具体化に向けて各機関と連携していく。

●交通安全について

問 区や管内の警察署が事故後、安全・安心に対する意識の啓発について工夫していることは。答 警察と連携して、ポスターの掲示等を実施。今後、セーフコミュニティの特性を活かし、オール豊島で意識啓発を行う。

●子ども貧困の改善について

問 シングルマザー支援の取組が課題である。区は女性にやさしい、住んで、働いて、子育てしやすい、まちづくりを進めているが、生きづらさを抱えるシングルマザーの貧困課題に対する具体的な解決策は。

答 ひとり親家庭支援センターを昨年7月に開設。精神的・経済的・社会的に不安を抱える方が多い。生活基盤等を安定させ、自立を促す事業の選択肢を増やし、ニーズに合ったサービスを



立憲としま 川瀬さなえ

提供し、安定した生活が送れるよう支援。今後も他部局やハローワーク等関係機関との連携を緊密にし、地域全体でのセーフティネットを構築していく。



安全・安心



ひとり親家庭のサポートガイド